

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	数学C	単位数	1単位 (1・2学期)	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース(文系)
使用教科書	高等学校 数学C(数研出版)		副教材等	チャート式 解法と演習 数学C(数研出版) クリアー数学C(数研出版)	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
---------	---

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
6	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	・向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。	○			・平面上のベクトルが2つのベクトルの線形和で1通りに表されることを理解し、具体的なベクトルを2つのベクトルで表すことができる。	定期考査 授業態度 課題
				○		・点の座標とベクトルの成分の関係を、座標平面上の図形の問題に活用できる。	
					○	・ベクトルの内積の計算をする際、1つ1つの計算で用いている性質を意識し、正しく適用できているか確かめようとする。	
6	5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示	・位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また、図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。	○			・ベクトルを点の位置ベクトルで表すことができる。	
				○		・位置ベクトルの一意性を活用して、線分の交点の位置ベクトルを求めることができる。	
					○	・様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	
7	第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. ベクトルの図形への応用	・平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。	○			・平面上のベクトルについての種々の定義や性質などは、空間においても同様に成り立つことを理解している。	
				○		・空間ベクトルの成分を座標空間と関連付けて考察できる。	
					○	・様々な空間図形の考察にベクトルを活用しようとする。	